公立大学法人
奈良県立医科大学

一般社団法人
MBTコンソーシアム

新型コロナウイルス感染対策の取り組み

はじめに …… 1
MBTコンソーシアムとは …… 2
業種別MBTコンソーシアム会員リスト …… 3
MBTの新型コロナ感染対策の取り組み ー感染症部会・分科会の立ち上げー … 5
MBT研究所が提唱する新型コロナウイルス感染対策 …… 7
感染対策共通基礎知識 …… 9
MBTの新型コロナ感染対策の取り組み ー啓発・広報活動ー …… 11
新型コロナ対策相談事例一覧 …… 15
新型コロナ対策相談事例（イベント） …… 17
新型コロナ対策相談事例（ガイドライン） …… 22
新型コロナ対策相談事例（教育関連） …… 25
新型コロナ対策相談事例（ホテル） …… 27
新型コロナ対策相談事例（店舗） …… 29
新型コロナ対策相談事例（セミナー） …… 31
細井理事長 基調講演 …… 32
新型コロナ対策相談事例（商店街） …… 33
新型コロナ対策相談事例（企業個別） …… 34

はじめに

「MBT コロナ克服キャンペーン」の実際

－コロナ禍の早期収束の願いを込めて－

MBTコンソーシアムは、医師等の持つ膨大な知識や技術を、個別の患者さんを治療する医療のみならず、広く産業に応用して、新しい視点からイノベーションを起こすことを目指しています。そして、医学的に正しい製品やサービスを創出することによって社会貢献を目指す「MBT（Medicine-Based Town、医学を基礎とするまちづくり）」活動を193社（2021年2月末）の会員企業と共に行っています。

今般のコロナ禍においても、オゾンガスや光触媒、柿渋、お茶が新型コロナウイルスの不活化に有効であることを世界で初めて実験的に証明しました。その研究成果を社会に還元するため、現在製品化を進めています。

そして今、私たちが取り組んでいるのが、「MBT コロナ克服キャンペーン」です。コロナを克服するためには医学的に正しい対処法を多くの人々が理解し実行することが重要ですが、一体どのような対処法が適切なのでしょうか。私たちはこの疑問に答えるべく、全国の学校、ホテル、商店街、イベントなどの相談に応じてきました。本冊子は、キャンペーンの一環として実際に行った、コンサルティングやガイドラインの作成指導、啓蒙活動等について、その実例を取りまとめたものです。

本冊子が多くの方々の参考となり、コロナ禍の早期収束に少しでも役立つことを願っています。

2021年3月15日

MBT コンソーシアム理事長
細井裕司
（奈良県立医科大学 理事長・学長）

MBTコンソーシアムとは

MBT

MBT
Medicine-Based Town
医学を基礎とするまちづくり

MBE
Medicine-Based Engineering
医学を基礎とする工学・産業創生

MBE・MBTの社会貢献の考え方

医学とは、人を研究する学問、人を知る学問です。
人が使う「製品・サービス」にも、人が住む「まちづくり」にもその知見が不可欠なのです。
「製品・サービス」や「まち」をつくる前に、人を知りましょう。
MBTコンソーシアムは企業等の皆様に医学知識を提供し、医学的に正しい「ものづくり」を通じて、イノベーションを起こすことによって、社会に貢献します。

MBT（医学を基礎とするまちづくり）17年のあゆみ

医学とは 人を研究する学問 人を知る学問

2004
- 住居医学講座構想
- 大和ハウス工業と交渉
- 公立大学法人化

2006－2013
住居医学講座（総額6億円）

2008
- 早稲田大学と連携協力協定を締結

2014年1月

2012－ 早稲田大学とのMBT共同研究

2014
- 内閣府地域活性化モデルケース指定
- MBT書籍出版

2015
- MBT研究会設立記念シンポジウム
- 橿原市と包括協定を締結
- 橿原市が奈良医大を地域再生推進法人に指定

2016
- MBTコロキウム（東京・大隈記念講堂）
- 奈良医大にMBT研究所を設置

2016－ 一般社団法人MBTコンソーシアム 会員企業:全業種180社超

2016－ MBT（医学を基礎とするまちづくり）研究所

2017
- 今井町ゲストハウス開設
- 栃木県高根沢町と連携協定を締結
- 大学院にMBT学を開設
- 和泉首相補佐官来学

2018
- MBTオープンミーティング（日本生命ビル）
- MBTコンソーシアム3周年記念大会

2019
- MBTを企業立地セミナーin東京で紹介
- マレーシアのプトラ大学と基本合意書を締結
- MBTオープンミーティング（三井住友本店）
- MBTロゴマーク第1号商品を認定

2020
- 北海道沼田町と連携協定を締結
- MBT新型コロナウィルス感染対策
  - MBTコロナ対策無料相談
  - 3感染ルート遮断の提案、実践
  - オゾン、柿渋、茶等ウィルス不活化
  - MBT発熱外来ユニットの開発
  - MBT感染症部会の立ち上げ

2021
- MBTビジネス活性化セミナー
- MBT新書籍出版予定、全国へ、世界へ

メディアに取り上げられた回数：300回以上

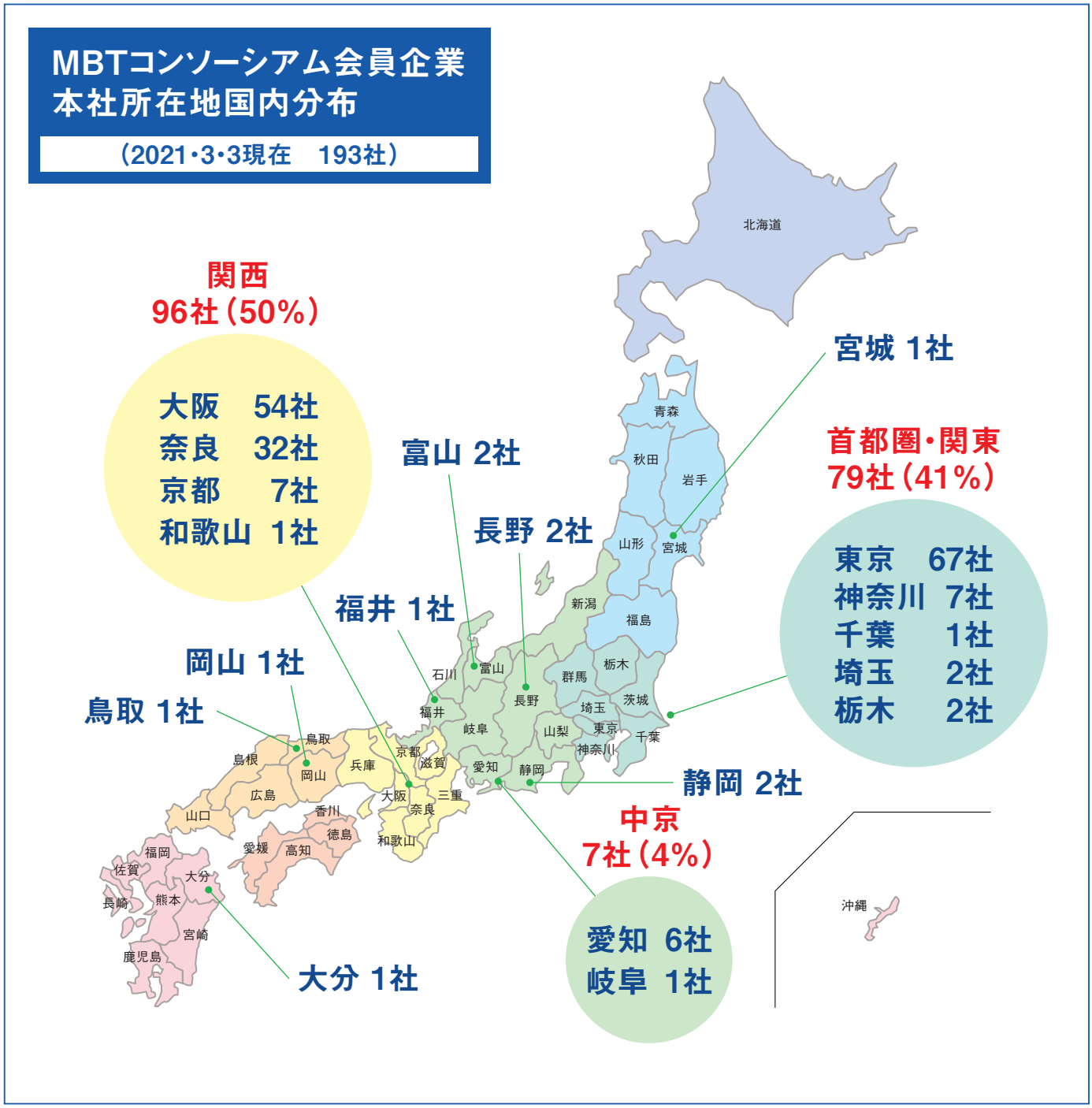
MBTの社会貢献は、地方創生、産業振興、まちづくりへ

奈良県立医科大学と共に、医学を基礎社会に貢献するMBTコンソーシアム会

MBTコンソーシアム会員業種別リスト（2021年3月2日現在 193会員）

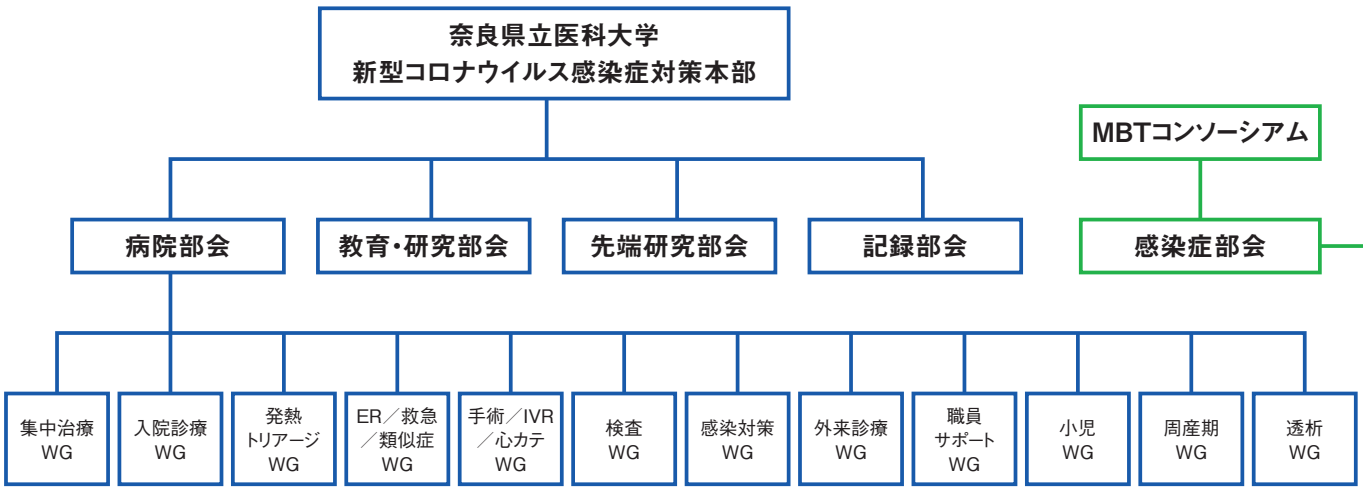
業種別	MBTコンソーシアム会員分類	企業数
1. 農林・水産・鉱業		0
2. 建設	(株)イムラ、(株)奥村組奈良支店、(株)片山工務店、(株)キャンディル、(株)きんでん奈良支店、(株)グッドライフ、グリーンアーム(株)、(株)近藤建装、(株)崎山組、積水ハウス(株)、大和ハウス工業(株)、大和リース(株)、(株)内藤建築事務所、松田電気工業(株)、(株)松田平田設計、(株)ライフアートプランテック	16
3. 食品	石井物産(株)、江崎グリコ(株)、春日井製菓(株)、カバヤ食品(株)、カンロ(株)、キリン(株)、寿スピリッツ(株)、三和澱粉工業(株)、中日本カプセル(株)、(株)バロックス、(株)日田天領水、(株)ポタジェ、UHA味覚糖(株)	13
4. 繊維・パルプ・紙	(株)サンロード、(株)島田、(株)新生、(株)高木包装、(株)タチバナ、帝人フロンティア(株)、東洋紡(株)、(株)Bonrich、日清紡ホールディングス(株)、日本エレテックス(株)、(株)野崎染色、(株)三笠、ミツフジ(株)、モード・ユーニット工房(株)、(株)ワコール	15
5. 化学	(株)コーセー、JSR(株)、積水マテリアルソリューションズ(株)、住友ベークライト(株)、(株)テクノーブル、ナスクナノテクノロジー(株)、明晃化成工業(株)、山本商事(株)	8
6. 医薬品	クオール(株)、(株)グランソール免疫研究所、佐藤薬品工業(株)、(株)ツムラ、日本ベーリンガーインゲルハイム(株)、丸石製薬(株)、ロート製薬(株)	7
7. 石油・ゴム・窯業		0
8. 鉄鋼・非鉄・金属	丸一鋼管(株)	1
9. 機械	(有)アペックス、KTX(株)、(株)タカゾノ、(株)タカトリ、DMG森精機(株)、テクノグローバル(株)、不二精機(株)、ユニオンツール(株)	8
10. 電気機器	アイワ(株)、(株)アズマ、(株)HBコーポレーション、(株)エム・エイチ・シー、応用電機(株)、(株)オーディオテクニカフクイ、(株)コムテック、シロカ(株)、シンクロア(株)、(株)タムラテコ、(株)ドゥエルアソシエイツ、(株)日本トリム、日本捲線工業(株)、パナソニック(株)、ファーストネーションズ(株)、富士通(株)、船井電機(株)、マクセル(株)、(株)村田製作所	19
11. 輸送機器		0
12. 医療・精密機器	岩崎工業(株)、エンプラス(株)、大研医器(株)、キヤノンメディカルシステムズ(株)、(株)ケアコム、セイリン(株)、セン特殊光源(株)、テルモ(株)、凸版印刷(株)、奈良精工(株)、ニプロ(株)、(株)フィリップス・ジャパン、(株)プロルート丸光、丸三製薬バイオテック(株)	14
13. その他製造	あけぼの化成(株)、(株)REO研究所、エクレール(株)、(株)MTG、(株)オーク製作所、オーブ・テック(株)、カナサシテクノサービス(株)、(株)キシマ、グラストップ(株)、(株)サンクレスト、三友商事(株)、昭和西川(株)、(株)ゼノン、ダイドレ物流(有)、(株)デルフィーノケア、(株)トラストレックス、(株)半導体エネルギー研究所、(株)フジ医療器、(株)プチファーマシスト、(株)マンダム、(株)MONDOCOLO、やまと真空工業(株)、レック(株)	23
14. 商業	(株)イマナカ、(株)暁星ジャパン、ソアラ(株)、BESTJAPAN(株)、(株)ONE	5
15. 金融・保険	アフラック生命保険(株)、MS&ADインターリスク総研(株)、損害保険ジャパン(株)、(株)南都銀行、日本生命保険(相)、(株)三井住友銀行	6
16. 不動産		0
17. 運輸・倉庫	近鉄グループホールディングス(株)	1
18. 情報・通信	アイテック阪急阪神(株)、(株)NTTデータ経営研究所、近鉄ケーブルネットワーク(株)、KDDI(株)、(株)KDDI総合研究所、コニカミノルタ(株)、(株)三技協、(株)産業経済新聞社、Takusu(株)、西日本電信電話(株)奈良支店、日新ネットワークス(株)、(株)日本経済新聞社、(株)プロアシスト、丸紅情報システムズ(株)、(株)三菱総合研究所	15
19. 電力・ガス	大阪ガス(株)、関西電力(株)、(株)関電エネルギーソリューション、大和ガス(株)、奈良電力(株)	5
20. サービス	(株)アリエル、(株)インデックスコンサルティング、(株)エクスレイヤー、(株)SRA、(一社)観光品質認証協会、環境衛生薬品(株)、北関東綜合警備保障(株)、(株)Kirala、(株)健康都市デザイン研究所、(一財)弘済会、(株)小山、(有)サンスバル、サンワテクノス(株)、大和リゾート(株) THE KASHIHARA、(株)ドクターネット、(株)ドトールコーヒー、(株)奈良ホテル、(株)日経アドエージェンシー、ニューロンネットワーク(株)、(株)ブレス、ヘルスグリッド(株)、明豊ファシリティワークス(株)、(株)メディカルノート、メディケアリンク(株)、(株)ライフビジネスウェザー、リーズンホワイ(株)、ロイヤルコンタクトサービス(株)、(株)ローソン奈良支店、ワタキューセイモア(株)	29
21. 公共・その他（自治体、大学、病院）	橿原市、東急(株)東急病院、奈良県、奈良県立医科大学、奈良友紘会病院、西の京病院、日本タクティールタッチ協会、個人会員1	8

とする安全、安心のまちづくりを通じて、
員193企業・団体（業種別で記載）



首都圏、関西圏を中心に、全国21都府県に分布

MBTコンソーシアムでは、感染症部会を様々な視点で感染対策に取り組んでい



2020年6月25日に第6回MBTコンソーシアム会員会議がオンラインで開催され、会員企業からの「コロナ対策を教えて欲しい」との要望に応えるため、新たに「コロナ対策・企業相談分科会」を立ち上げたことが細井理事長より発表されました。

コロナ対策で失敗しないために!

「コロナ対策・企業相談分科会」設立の趣旨と経緯

1 設立の趣旨

「医学知識を企業等に提供し、イノベーションを起こす社会貢献活動」であるMBTの根本精神をコロナ対策に生かす。
医学を知らなかったから作ってしまった骨伝導電話機の失敗を繰り返さないために**医学的に正しい感染症対策を知り、正しく効率のよいビジネスを行えるようにする。**

2 設立の経緯

多くの会員企業様から**「コロナ対策を行いたいが、その対策が医学的に正しいのかどうかを教えて欲しい。」**という依頼がございます。
この分科会は、このような要望にお応えして、企業様がwithコロナ、afterコロナの時代に即した企業活動を行っていただくための分科会です。
分科会には奈良医大の教授陣だけでなく、多くの取引先企業の支援を目的として、発足時点において、南都銀行、日本生命、クオール、大手都市銀行（敬称略）等が参加していただくことになっています。

立ち上げ、奈良県立医科大学とも共同で、ます。

MBTコロナ患者見守り分科会

取り組み内容	患者と非接触で、スマホカメラ撮影映像から患者のバイタルを計測し症状のスクリーニングを行う試みを実施
成　　果	現在進行中
参 加 企 業	近鉄ケーブルネットワーク（株）

MBT感染症外来分科会

取り組み内容	11年前に開発したプレハブ型発熱外来技術を基に、最新の情報技術やコロナ対策を導入した新型の感染症発熱外来の開発
成　　果	•MBT感染症外来ユニットを開発、提案書を260の全国の病院や自治体関係者に配布 •全国に本提案をベースの施設が多数建設された
参 加 企 業	大和ハウス工業（株）　大和リース（株）　内藤建築事務所（株）

MBTコロナ不活化分科会

取り組み内容	新型コロナウイルスの不活化に有効な装置や食品等の実験室評価を実施
成　　果	オゾンガス、柿渋、光触媒、お茶の評価を行い不活化と不活化条件を確認、成果をメディアに発表
参 加 企 業	オゾンガス・オゾン水関連会社15社　光触媒関連会社8社 柿渋関連会社7社　お茶関連会社1社

MBTリンク活用見守り分科会

取り組み内容	奈良医大発ベンチャー会社のMBTリンク（株）と連携し、種々バイタル計測データをクラウドに集め被験者の健康状態の評価やアドバイスを行う実証実験の実施
成　　果	現在進行中
参 加 企 業	MBTリンク（株）

MBTコロナ対策・企業相談分科会

取り組み内容	コロナ感染対策の無料相談を、企業や種々団体からの依頼に応じてwebや現場での助言を実施
成　　果	企業相談2件　教育関係2件　イベント関係5件　ガイドライン監修3件　その他10件
参 加 企 業	日本経済新聞社、南都銀行、クオール（株）、損害保険ジャパン（株）、日本生命保険相互会社 三井住友銀行、大和ハウス工業（株）、（株）インデックス・コンサルティング

MBTが提唱する新型コロナウイルス感染対策

コロナ感染対策は「三密」を避けるだけで十分でしょうか?

「三密」とは、

1. 換気の悪い密閉空間
2. 多数が集まる密集場所
3. 間近で会話や発声をする密接場面

のことで、この「三密」を避ける行動が新型コロナウイルス感染対策に有効であるとされています。
しかし、本当にそれだけで十分でしょうか?
コロナ感染対策の本質は何でしょうか。

感染対策の本質は「三感染ルート遮断」です。

三感染ルートとは、

1. 接触
2. 飛沫
3. エアロゾル

のことで、この3つのルートを遮断することで、より効果の高い感染対策となります。
MBTでは、3つの感染ルート遮断のための環境整備を行っているイベント・施設に右のポスターを付与しています。

MBTが提唱する「三感染ルート遮断」に対する環境整備

1 接触感染に対する環境整備

- **参加関係者が、手の消毒が行いやすい環境整備**

  手の消毒をこまめに行っても、無意識のうちにテーブルや顔を触っています。この時遠くまで行って再度消毒することは億劫になりがちです。参加者が消毒が必要と感じられたとき、容易に消毒できる環境を整備します。

- **会場設備に対する消毒**

  できるだけ頻回にスタッフによって会場設備の消毒をしています。テーブルは上面だけでなく、側面など参加者が触れられる場所を消毒するようにしています。しかしながら、頻繁に消毒して回るということは不可能です。参加者ご自身が必要と感じられましたら、参加者ご自身でも消毒していただけるような環境整備を行います。

2 飛沫感染に対する環境整備

- できる限り対面を避けた席の配置をしています。
- 対面が固定されている席においては、飛沫感染が起こらないよう遮蔽物を設けています。
- 大声が飛沫の原因となることがありますので、大声の原因となる周囲音をできるだけ小さくなるようにしています。従いまして、バックグラウンドミュージックの音量を低くしています。
- スタッフはマスクを着用しています。

3 エアロゾル感染に対する環境整備

- 当会場においては、一人当たり30㎥/h以上の換気量を十分確保しています。
  （「換気の悪い密閉空間に当たらない。」とされる必要換気量は1人あたり30㎥/hとされています。）

感染対策共通基礎知識

各種感染対策のポイント

<table>
<tr><th colspan="2"></th><th>家庭にて</th><th>職場にて</th><th>その他（お店等）</th></tr>
<tr><td rowspan="6">接触感染</td><td>①手指衛生</td><td colspan="2">手指に付着したウイルスを除去するために行うのが「手指衛生」です。「手指衛生」には「流水と石けんによる手洗い」と、②「手指消毒薬による手指消毒」の二通りがあります。
眼で見て手指が汚れている時には流水と石けんによる手洗いで汚れを落とすことが必要ですが、それ以外の場合は、手指消毒薬による手指消毒で十分だと考えてください。また石けんによる手洗いの場合、家庭ではタオルの共用は避け、職場では手洗い場にはペーパータオルを設置するなどしてください。石けんは固形石けんよりも液体石けんが推奨されます。
手指衛生のタイミングとしては、①自分の手指にウイルスが付着している場合に、自分の目や鼻、口を触る前に手指衛生を行うこと、②自分の手指にウイルスが付着している場合に、そのウイルスを他人、あるいは他人が触る物品に広げてしまう前に手指衛生を行うこと、の二点が重要です。</td><td>例えば土産店ではお客様に入店前に手指衛生をしていただくことはお店にウイルスを持ち込まないために重要です。また、入店後も、咳やくしゃみをした際に口や鼻を手で覆った場合や、試食、試飲などを行った後には手指衛生をしてもらってから、店内の物品を触ってもらう必要があります。
また従業員も、特に飲食物を扱う際には、お客様に渡す飲食物に触れる直前に手指衛生を行い、飲食物をウイルスなどで汚染させないことが重要です。</td></tr>
<tr><td>※手指消毒の注意点</td><td colspan="3">手指消毒薬は70%前後のアルコールを主成分とした消毒薬が基本です。近年よく見られる「次亜塩素酸水」については、手指消毒には使用できません。</td></tr>
<tr><td>②物品や環境の消毒</td><td colspan="2">手すりやドアノブ、電気のスイッチ、テーブルなど複数の人が触れる場所については、こまめに消毒をします。</td><td>重要なことは、①「物品に触れる前の手指衛生」と、②「人が触れた物品の消毒」の両方の観点から対策することです。
例えば土産物店では、「土産物になるべく触れない」ことができれば最も良いですが、それが難しい場合は、「土産物に触れる前にお客様に手指衛生をしていただく」「土産物が消毒できるものであれば、適宜消毒する」といった対策が可能です。
食事提供施設では、お客様が飲食するテーブルの表面（ふち、へりを含む）、テーブルの上の箸箱や七味、しょう油入れなどの共有物品、体験事業者であれば、それぞれの体験事業におけるお客様の共有物品、寺社仏閣などでは、ひしゃくや本坪鈴の鈴緒などがあるでしょう。
「触れる前後の手指衛生」「触れる前後の物品・環境消毒」の両者の観点から、お客様と従業員が「よく触れる」物品や場所をリストアップし、どちらの対応が適切かを各業種、各施設ごとに決め、さらにその際に必要な消毒薬を「使いやすい」場所に配置することが重要です。</td></tr>
<tr><td>※物品や環境の消毒の際の注意点</td><td colspan="3">物品や環境の消毒は「アルコールや次亜塩素酸ナトリウムを含ませたシートで拭く（清拭消毒）」ことによって消毒を行うのが原則です。スプレーで吹き付けるだけなどでは不十分ですし、吸入することによって健康を害する可能性がありますのでご注意ください 。</td></tr>
<tr><td>③手袋</td><td></td><td></td><td>スーパーや飲食店で従業員が手袋を着けっぱなしにして従業している場面を見かけることがありますが、これは大変危険です。手袋に付着したウイルスで環境やお客様にお渡しする物品を汚染させてしまう危険があります。トイレの清掃や、ゴミ収集などでは手袋を使用するべきですが、この時も適切に交換、廃棄する必要があります。基本的には「手袋よりも手指衛生」と覚えておきましょう。</td></tr>
</table>

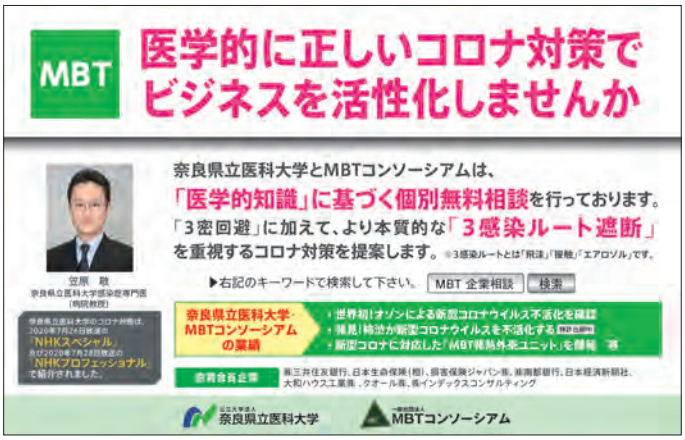
<table>
<tr><th></th><th></th><th>家庭にて</th><th>職場にて</th><th>その他（お店等）</th></tr>
<tr><td rowspan="2">飛沫感染</td><td rowspan="2">④マスクとフェースシールド</td><td colspan="3">「飛沫感染」を防ぐために、マスクは極めて重要です。「咳やくしゃみをする人」がマスクで鼻と口をしっかり覆うことによって、飛び出す飛沫の距離や範囲は大幅に短く、狭くすることができますし、その周辺の人もマスクで鼻と口をしっかり覆うことによって、飛沫を吸い込む危険性を大幅に低減させることができます。このように「お互い」がマスクを適切に装着することによって、「眼に飛沫が飛んでくる」危険性はほとんどなくなりますので、この状況では通常はフェイスシールドやゴーグルで眼を防護する必要はありません 。</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>一方で、「マスクをしていない」人が咳やくしゃみ、大声を出すと、飛沫が遠く、広い範囲で飛散する危険があり、周囲の人がマスクをしていたとしても、眼に飛沫が入る危険があります。具体的には特に飲食の場ではお客様はマスクを外しますので、従業員はフェイスシールドなどの装着を考慮します。その他、お客様、従業員ともに「可能な限り」マスクで鼻と口を覆った状態を保つことが重要です。逆にいえば、お客様がきちんとマスクを装着し、大声を出さないような状況では、従業員は眼の防護は不要です。</td></tr>
<tr><td>エアロゾル</td><td>⑤換気</td><td colspan="3">「マイクロ飛沫感染」を防ぐために、換気は極めて重要です。具体的には「1人あたり1時間30㎥の換気」が望ましいとされています 。
換気の方法としては、必ずしもドアや窓を開けたままにする必要はありません。1時間に2回、1回5分ずつ、など時間を決めて短時間 開けるのも効果的です 。</td></tr>
<tr><td>その他の感染</td><td>⑥行列や混雑の管理</td><td></td><td></td><td>行列や混雑といった状態は、いわゆる「3密」の状態になり、飛沫、接触、マイクロ飛沫感染の起きやすい状況です。しかし同じ行列でも「室内」の行列と比べれば「室外」の行列の方が換気も良く感染の危険性は低くなります。また行列になる場合でも、お客様同士が対面に近い状態になるような行列を避ける工夫などが必要です。
「動線」も感染対策では重要な概念の一つです。「入り口」と「出口」を分けることで、お客様同士が対面になる可能性を低くする方法もあります。動線をはっきりさせるために床に矢印を表示する方法もあります。</td></tr>
</table>

MBTの新型コロナ感染対策の取り組み　ー啓発･広報活動ー

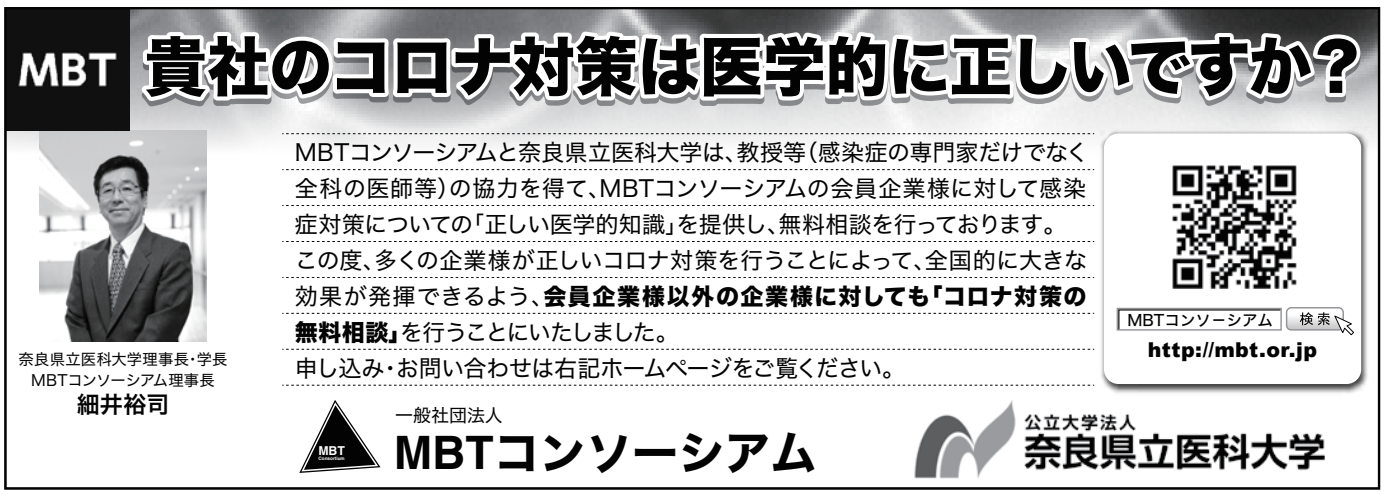
MBTコンソーシアムでは、交通広告などを通じて、「医学的に正しいコロナ対策」、「コロナ対策無料相談」を啓発、周知しています。

中吊り広告

東京山手線　2020年10月13日～19日



新聞広告



日本経済新聞（全国版）　2020年7月20日、29日

「MBTコロナ克服キャンペーン」の一環として、withコロナ時代を生き抜く新たな活動をテーマにweb座談会を実施しました。

コロナ新時代を見据えて、各界の著名人と語る
第1回 MBTコロナ対策web座談会

ゲスト	狭川普文 師（東大寺別当）
テーマ	1270年続く東大寺修二会の歴史から見る新型コロナ感染症
日時	2021年1月22日 16:00～17:30

（写真中央）
狭川普文 師
・1975年龍谷大学修士課程修了
・1977年修二会新入
・2010年東大寺執事長
・2016年華厳宗管長・東大寺別当
・2019年再任され現在に至る

（写真左）
笠原敬
奈良医大病院教授　感染症センター長

（写真右）
細井裕司
奈良医大理事長・学長　MBTコンソーシアム理事長

▸ 細井

東大寺修二会は、長い歴史の中で幾多の苦難を乗り越え、一度の中止もなく1270回目を迎えられる。東大寺様の知恵と、笠原先生の現代医学の知恵を語り合って頂きたい。

▸ 狭川普文 師

聖武天皇が発願の盧舎那大仏造立は国の命令でなく、自ら進んで助力する人々で、延べ約260万人（当時の人口は約500万人）が携わった。
奈良時代、聖武天皇は天然痘などに病む庶民に対し医療と栄養補給を全国に指示する医療福祉行政を行っている。光明皇后は病人に薬を施し病を治療する施薬院を設置した。
平家の南都焼き討ちや三好・松永の戦いで諸堂が焼亡する被害を受けたが、修二会は絶える事はなかった。
太平洋戦争中、練行衆に赤紙が来て数名が抜けたが、灯火管制の下で松明の火を小さくして実施した。
本年度は、笠原先生の指導を得て新型コロナ対策をして進める。詳細はホームページを見てほしい。

▸ 笠原

奈良医大は日本で初めてコロナ患者を治療した病院、第1波での経験が第2、第3波の対応に生きている。天然痘は人間のみ感染、ぶつぶつなど皮膚症状が出るが、コロナは無症状もあり、動物にも感染など、手ごわい。練行衆は、日常生活からコロナ感染対策を行いPCR検査の陰性を確認して修行に入ることが重要と助言してきた。

MBTの新型コロナ感染対策の取り組み　ー啓発・広報活動ー

細井裕司理事長が呼びかけ、「MBTコロナ克服キャンペーン奈良」を開催。奈良を代表する社寺・ホテル・商店街が“奈良モデルづくり”を確認しました。

MBTコロナ克服キャンペーン奈良

日時・場所　2020年12月18日 奈良ホテル

▸ 呼びかけ人　細井裕司理事長の提案

- 3感染ルート遮断こそ感染拡大防止の本質
- MBTのコロナ感染の取り組みで奈良は安心・安全な場所であるとの認識を定着させ、観光客を呼び込み地域の活性化を図るとともに、この活動を奈良モデルとして全国に発信したい。
- すべて今まで通りという考えは捨てなければならない。楽しく会話をしながら会食をするとコロナの危険性が高まる。
- 会食を行う場合は、感染の危険を最小限にする工夫をする。その時、ある程度は会話の楽しさを犠牲にする覚悟が必要。

▸ 感染対策助言を推進してきた　笠原敬病院教授

- 最近の感染拡大は気のゆるみのように思える。
- 感染対策は、いつも一緒にいる家族より隣の見知らぬグループへの対策が重要。
- 感染の本質は何か。商店街やアウトドア環境での感染は少ない。家を出てから家へ戻るまでのトータルで感染対策は考えるべき。マスクを外す時間を短くする一口で食べられる料理の工夫も必要。

▸ 参加キーマンのコロナ感染対策コメント

東大寺 執事
森本公穣 氏

- 来年1270回目の修二会を、感染対策でやり切り、この取り組み記録を残し後世に伝えていきたい。

奈良ホテル 取締役
福田順 氏

- 感染従業員の来客に対する感染を避けなければならない。従業員は小さなアルコールボトルをポケットに忍ばせ手指衛生を図っている。

もちいどのセンター街
理事長 松森重博 氏

- お客様の感染防止で店内に入る前、精算時の手指衛生の重要性指摘が印象的。年末年始のすべてのイベントは中止し長期戦で対応していく。

春日大社 禰宜
藤岡信宏 氏

- 春日若宮おん祭りは、例年1000人の行列だが20～30人規模に縮小で実施。
- おみくじなどに抗菌処理を、職員・巫女の手指衛生を徹底。

「MBTビジネス活性化webセミナー」を
ハイブリッド形式で開催。
会場では3感染ルート遮断MBTコロナ対策を実践しました。

MBTビジネス活性化webセミナー

主　　催	MBTコンソーシアム、奈良県立医科大学、損保ジャパン、南都銀行
日時・場所	2020年12月18日 奈良県コンベンションセンター203号室
参加人数	会場59名 web73名

▸ 第1部講師 細井裕司氏

奈良県立医科大学理事長・学長、MBTコンソーシアム理事長

＜講演概要＞

- MBTの本質は医学による産業イノベーションであり、MBT　発想の原点は、自身の軟骨伝導の発見を産業に応用することで社会貢献を行うこと。
- 190社を超えるMBTコンソーシアム会員と、医学的に正しいコロナ感染対策や不活化研究を推進中。

▸ 第2部講師 石川昌和氏

損保ジャパン奈良支店 法人支社支店長代理

＜講演概要＞

- 感染症などの危機管理や災害対策などに備える事業継続計画（BCP）策定サービスの紹介

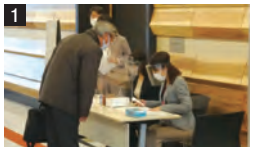
3感染ルート遮断による「 MBT コロナ感染対策」の本会場における実践例

❶ 接触感染ルート遮断
- ⅰ）受付や会場全座席にアルコール消毒液とアルコールシートを配置、机上・机側面等消毒がすぐにできる環境を提供（写真2、3、4）
- ⅱ）講演ごとにマイクを消毒（写真6）
- ⅲ）配布資料は手渡しせず予め座席に設置（写真4）

❷ 飛沫感染ルート遮断
- ⅰ）受付・講演台にアクリル板設置（写真1、6）
- ⅱ）司会者はフェースシールドとマスク（写真5）

❸ エアロゾル遮断
- ⅰ）室内換気量は厚労省推奨値「1人当たり30㎥/h」確保
- ⅱ）参加者全員マスク掛け

❹ その他
- ⅰ）受付入り口で検温、発熱者は入場拒否（写真1）
- ⅱ）会場座席は3人掛け机に1人掛けとして1.5m以上の間隔を確保（写真4）



新型コロナ対策相談事例　一覧

イベント

1
企業・団体名　東大寺
相 談 内 容　東大寺修二会（二月堂お水取り）での新型コロナウイルス感染対策
P.17

2
企業・団体名　（公財）関西文化学術研究都市推進機構（けいはんな学研都市推進機構）
相 談 内 容　イベント開催時における新型コロナ感染対策
P.19

3
企業・団体名　カトリック大和八木教会
相 談 内 容　ミサ開催時の参加者感染対策
P.20

4
企業・団体名　日本経済新聞社
相 談 内 容　イベント開催時における新型コロナウイルス感染対策
P.21

ガイドライン

5
企業・団体名　吉野町
相 談 内 容　観光事業者向け新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン監修依頼
P.22

6
企業・団体名　（一社）観光品質認証協会
相 談 内 容　「サクラクオリティ」付与基準として新型コロナ感染対策を盛り込むにあたり、監修依頼
P.23

7
企業・団体名　株式会社エクスナレッジ
相 談 内 容　建築業界向け月刊誌におけるコロナ対策特集の記事監修
P.24

教育関連

8
企業・団体名　育英西中学校、高等学校
相 談 内 容　密となる通学バスや教室の授業時における感染対策について相談
P.25

9
企業・団体名　（一社）大和飛鳥ニューツーリズム
相 談 内 容　民家体験宿泊時における感染対策について相談
P.26

ホテル

10
企業・団体名　ダイワロイヤルホテル　THE KASHIHARA
相 談 内 容　結婚式や団体客など多人数が参加の場合の感染対策相談
P.27

11
企業・団体名　奈良ホテル
相 談 内 容　結婚式や団体客など多人数が参加の場合の感染対策相談
P.28

店舗

12
店 舗 名　ドトールコーヒーショップ奈良県立医科大学附属病院店
P.29

13
店 舗 名　ダイワロイヤルホテル　THE KASHIHARA　「カフェ&レストラン甘樫　他」
P.30

14
店 舗 名　クオール薬局　梅田ガーデン店
P.30

セミナー

15
企業・団体名　京都市成長産業創造センター（ACT京都）
相 談 内 容　セミナー開催時における感染対策相談
P.31

商店街

16
企業・団体名　奈良もちいどのセンター街
相 談 内 容　商店街における感染対策相談
P.33

企業個別

17
企業・団体名　ユニ・チャーム株式会社
相 談 内 容　介護現場における感染対策相談
P.34

新型コロナ対策相談事例 イベント

1

企業・団体名　東大寺

相 談 内 容　東大寺修二会（二月堂お水取り）での新型コロナウイルス感染対策

東大寺の修二会は、すべての生き物の幸せを祈る伝統行事で、752年に始まって以来、戦時中も途切れることなく続いており、2021年には1270回目を迎える重要宗教行事です。その伝統行事を、新型コロナウイルス感染拡大を克服して継続するために、東大寺は奈良医大とMBTコンソーシアムに、医学的知識に基づくコロナ対策の助言を求められました。

❶ 第1回検討会を東大寺寺務所で開催

（2020年9月26日）

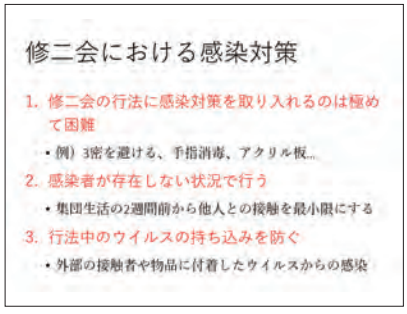
参加者	東大寺（狭川住職、森本庶務執事、他） 奈良医大（感染症センター笠原敬病院教授）、MBTコンソーシアム
内容	・修二会は、修行僧11名・三役3名、童子や仲間（ちゅうげん）などの世話係、食事や風呂の準備担当の計39名が、2月中旬より厳冬期のほぼ1か月を共にすることになり、その際の感染防止策や修行環境の在り方について相談されました。 ・この日は、説明を受けながら現場をつぶさに見て回り、感染対策面から助言を行いました。また、この日の取り組みはNHK奈良放送局の取材も行われました。

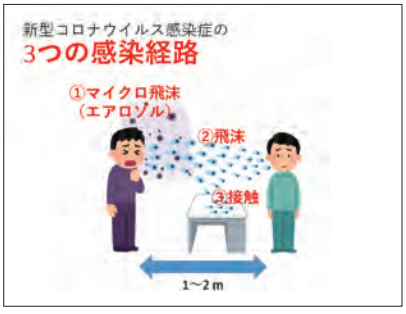
② 東大寺修二会の無事スタートに向け、参籠衆39名および家族に向けて新型コロナウイルス感染予防の勉強会を実施

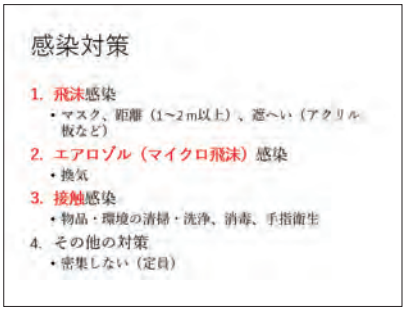
（2021年1月16日）

参加者	東大寺（修行参加予定の参籠衆39名、およびその家族等約70名） 奈良医大（感染症センター笠原敬病院教授）
内容	・東大寺二月堂で行われる修行は密にならざるを得ず、その中で修二会を無事成し遂げるには、関係者全員が新型コロナウイルスに感染していない状態で修行に入ることが不可欠と考え、そのためには家族も含め関係者全員がコロナ感染のメカニズムや、その予防策を学ぶことが重要であるとして、勉強会の開催に至ったものです。 ・感染の本質である3感染ルート遮断を軸に講演が行われ、会場からは真剣な質問が飛び交いました。

当日の勉強会スライド（笠原敬病院教授提供、抜粋）







新型コロナ対策相談事例 イベント

2

企業・団体名　（公財）関西文化学術研究都市推進機構（けいはんな学研都市推進機構）
相 談 内 容　イベント開催時における新型コロナ感染対策

けいはんな学研都市推進機構は、地域の大学、企業、研究機関、自治体と連携して産学官連携による新事業創出や地域創生を実施している。コロナ禍にあって、日常活動ができなくなっている中、感染対策を行いながら活動を再開したいという想いがあり、コロナ感染対策相談の依頼をされてきたため、現地に出向き相談会を実施。

けいはんな学研都市推進機構でコロナ対策相談を実施

（2020年12月10日）

参加者	京田辺市、精華町、株式会社けいはんな、（公財）関西文化学術研究都市推進機構より15名が参加 奈良医大（感染症センター笠原敬病院教授）、MBTコンソーシアム
内容	①笠原敬病院教授より、コロナ感染対策の基本を手短に講義 （吉野町観光ガイドラインをテキストに使用。さらにMBTニュースレターの関係号を配布） ②会場から今後のイベント再開に備えたコロナ感染対策質問を受けて、笠原敬病院教授が回答

当日の質疑応答（一部抜粋）

Q 「けいはんな科学体験フェスティバル2021」を計画。例年、親子1500人参加。会場内はディスタンスや対策をとれるが、短時間の受付が密になるのが心配。

A 飛沫感染、エアロゾル感染よりも、むしろ、科学実験で使う機材の物品を介した接触感染が心配。コロナウイルスが付着した指先で口、鼻、目に触れた時に感染する。特に子供は監視が必要。病院でも看護師2人がペアになり相互に監視しながら患者対応をしている。

Q 成人式の案内の時期だが、約300人の新成人が受付で密になることが心配。

A 入場をコントロールするなら、例えば整理券方式で行うことを事前に案内が必要。当日コントロールを考えるなら、分散受付、待機してもらう、など方法が考えられる。受付の密で感染するより、成人式後のカラオケ、レストラン、などが感染の機会になり得る。

3

企業・団体名　カトリック大和八木教会

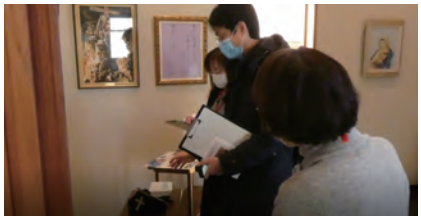
相 談 内 容　ミサ開催時の参加者感染対策

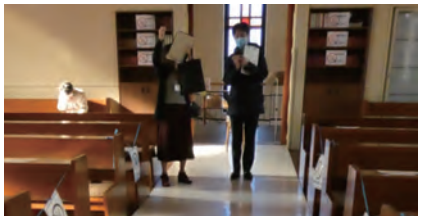
コロナ対策無料相談を奈良医大が実施していることを知った教会側から電話で相談依頼。コロナ感染を恐れ、12月キリスト教降誕祭の諸行事の実施について、教会内で賛否両論があるため、現在のコロナ対策の是非を確認したい、との希望で相談会を実施。

ミサに参加しながら現状の対策をヒアリング、助言

（2020年12月6日）

参加者	カトリック大和八木教会より4名 奈良医大（感染症センター笠原敬病院教授）、MBTコンソーシアム
内容	①ミサ開始前に、現在の対策をヒアリング ②ミサに臨席して、進行の中で課題を確認 ③ミサ終了後に、課題の指摘と意見交換





● ミサ開始前のヒアリング

● ミサに臨席

● ミサ終了後の意見交換

笠原敬病院教授からの指摘事項

1. アルコール手消毒は、たっぷり液を使って行なう事。
2. 靴底ウイルスは気にせず、靴拭いタオルは不要。
3. 非接触検温は外気影響を受けやすいので当てにしない。
4. オルガン奏者前にアクリル板を設置、又はオルガン奏者とミサ参加者との間の距離を適正に保つ。
5. マイクの使いまわしはしない。個々に消毒を実施。
6. ウイルスは指先に残ることを意識して、机、引き出し、把手、などの消毒を。
7. 聖歌を歌う際にウイルスが飛ぶので、列ごとに謳う、時間差を置く、など工夫を。
8. 献金の際に、お金を触った後は手指衛生を。

上記指摘を受け、教会は、即実行し奈良県内8教会でも情報を共有する、との事であった。

新型コロナ対策相談事例 イベント

4

企業・団体名　日本経済新聞社

相 談 内 容　イベント開催時における新型コロナウイルス感染対策

MBTコロナ対策協賛会員企業の日本経済新聞社は、9月30日（水）、大阪ハービスホールで実施予定のビッグイベントのコロナ感染予防について助言を求めてこられました。

① ZOOMによるON-Line会議で相談を実施

（2020年9月16日）

参加者	日本経済新聞社、日経アドエージェンシー社 奈良医大（感染症センター　笠原敬病院教授、MBT研究所、研究推進課）、MBTコンソーシアム
内容	・会場平面図（下記）でイベントの主要地点を確認（〇数字）、参加者やスタッフの動線に従って、3感染ルート遮断の視点で助言を実施 ・日本経済新聞社には、助言に従って対策の実施と開催当日に参加者に配布するMBTコロナ対策パンフレットの作成をお願い

日経ウーマノミクス2020バーチャルシンポジウム
（大阪梅田・ハービスホール）
MBTコロナ感染対策実施現場状況報告　2020.9.30

①ホール入り口
②受付
③発表者席
④付き添い者席
⑤審査員席
⑥発表者控え席
⑦発表演台
⑧司会者演台
⑨審査員控え室
⑩トイレ
⑪来場者食事場所

② イベント会場におけるコロナ感染対策実施概要

（2020年9月30日）

- MBTコロナ対策ステッカー入りポスターを会場数か所に貼り実施内容を参加者にPR
- MBTコロナ対策パンフレットも配布

- 検温、マスク、手指消毒を行い会場に入場
- 会場内は前後・左右の距離を十分確保して着席

- 発表者演台はアクリルでカバー
- 発表者は使い捨てフェースマスク着用
- 発表者ごとにマイクも交換、消毒
- 発表後も手指消毒後に着席

新型コロナ対策相談事例 ガイドライン

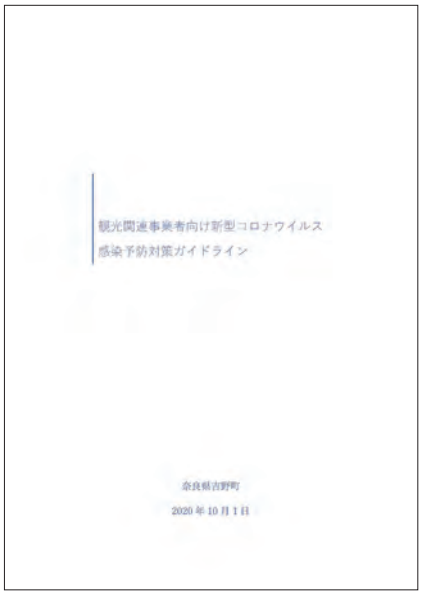
5

企業・団体名　吉野町

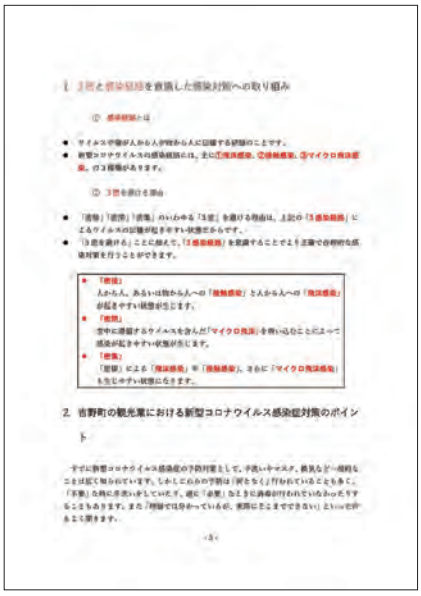
相 談 内 容　観光事業者向け新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン監修依頼

吉野町では観光に訪れる人も地域に住む人も、地域で事業をする人も、みんなが「安心・安全な観光地」を目指して取り組んでいくことを宣言。取り組みの一環として、「観光事業者向け新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」の作成を決定。凸版印刷（株）が作成を担当する中で、奈良医大感染症センターの笠原敬病院教授に監修の依頼があった。

吉野町「観光事業者向け新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」監修


観光関連事業者向け新型コロナウイルス
感染予防対策ガイドライン

奈良県吉野町
2020年10月1日



ガイドラインの概要

- 前半は全施設共通事項として、感染対策の基本と観光業における各種感染対策のポイントについて解説
- 後半は吉野町の観光業に特化した内容として、
  - ・宿泊業
  - ・食事提供施設
  - ・土産物等販売業
  - ・体験事業者（箸づくり体験、紙漉き体験、釣り、ボート）
  - ・観光施設等（寺社仏閣、資料館等）

  について、シーン毎に具体的に感染対策を解説。

ガイドラインの活用

吉野町では、本ガイドラインを守ると宣言する店舗にステッカーを配布。これにより、対策の見える化と各事業所の感染予防対策についての意識向上を目指す。

新型コロナ対策相談事例 ガイドライン

6

企業・団体名　（一社）観光品質認証協会

相 談 内 容　「サクラクオリティ」付与基準として新型コロナ感染対策を盛り込むにあたり、監修依頼

「サクラクオリティ」は（一社）観光品質認証協会が始めた宿泊施設の認証制度。「サクラクオリティ安全行動基準第19版」（新型コロナウイルス感染症予防及び防犯防災衛生管理実践マニュアル）の作成にあたり、専門家の監修が必要とのことで、MBTコロナ対策企業相談に申し込みがあり、奈良医大感染症センターの笠原敬病院教授が監修。

▸「サクラクオリティ安全行動基準」第19版（新型コロナウイルス感染症予防及び防犯防災衛生管理実践マニュアル）監修

監修にあたり、ZOOM会議開催

（2020年10月30日）

参加者	（一社）観光品質認証協会統括理事　北村剛史氏 奈良医大（感染症センター笠原敬病院教授）、 MBTコンソーシアム
内容	①北村氏より、サクラクオリティ安全行動基準 発行の背景について説明 ②意見交換

実践マニュアルの概要

●宿泊施設に特化したマニュアルとして、前半では感染対策の総論を、後半ではシーン毎に
・入館時対応　・フロント　・客室　・食事処やレストラン　・宴会場　・厨房等
・部屋食　・ブッフェ　・大浴場　・フィットネス、ジム、エステルーム　・バックヤード
・その他共用部
における感染対策を、「徹底することが望まれる対策:レベル1」、「できれば実施してほしい対策:レベル2」、「実施されていれば高度な感染症拡大防止対策と考えられる対策:レベル3」と整理して解説。

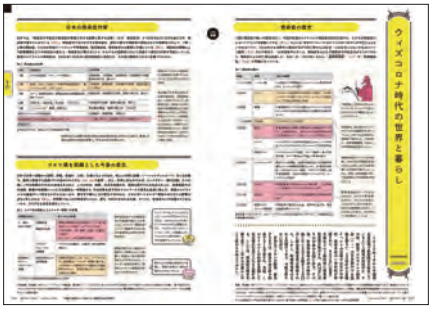
7

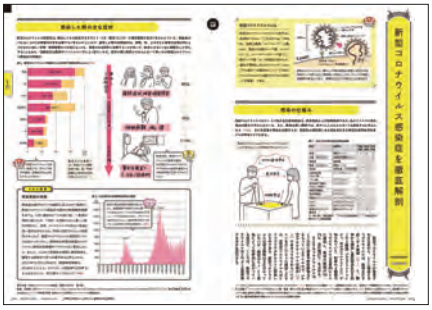
企業・団体名　株式会社エクスナレッジ

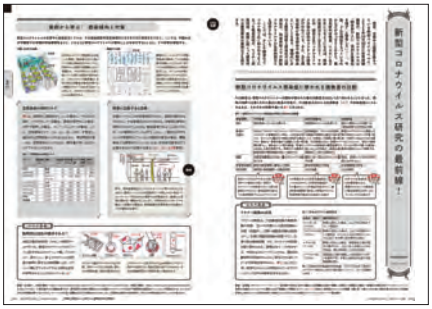
相 談 内 容　建築業界向け月刊誌におけるコロナ対策特集の記事監修

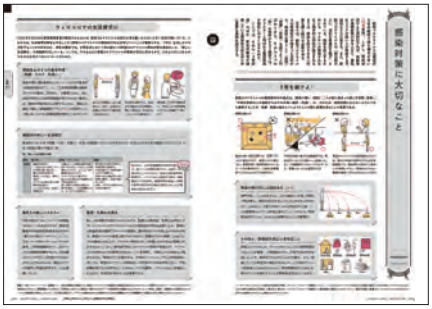
MBT感染症外来分科会によるプレハブ型「MBT感染症外来ユニット」の成果が日本経済新聞に紹介されたことがきっかけで、建築業界誌を発行する(株)エクスナレッジからコロナ特集企画に掲載希望があり情報提供を行った。その際に、コロナ対策・企業無料相談も実施していることを知った(株)エクスナレッジが、加えてコロナ感染対策特集記事にも監修を希望

建築業界向け月刊誌「建築知識2020年12月号」特集記事の監修





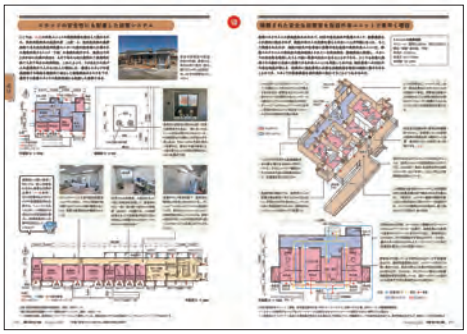




特集記事の内容

- ウィズコロナ時代の世界と暮らし
- 新型コロナウイルス感染症を徹底解剖
- 新型コロナウイルス研究の最前線!
- 感染対策に大切なこと

上記について、(株)エクスナレッジが作成した原案に対して監修。
また、MBT感染症外来ユニットについても紹介。



新型コロナ対策相談事例 教育関連

8

企業・団体名　育英西中学校、高等学校

相 談 内 容　密となる通学バスや教室の授業時における感染対策について相談

登下校バスの密状態と、冬季の教室の換気について相談があり、奈良医大感染症センター 笠原敬病院教授よりメールで感染対策を助言

通学時、および授業中の教室での新型コロナ対策相談

相談内容

①多くの生徒、保護者、職員から「登下校バスの密状態が不安」という声が上がっている。バスの増便について奈良交通とも折衝したが、2台の増便という対処が精一杯となっている。

②現在の文科省ガイドラインでは、「気候上可能な限り常時、困難な場合はこまめに30分に1回以上、数分程度、窓を全開する、2方向の窓を同時に開けて行うようにする」が基本となっているが、できれば授業を中断して換気するのではなく、各授業45分の終了毎に実施したい。
一方で、マスクをしているとはいえ、
1.大きな声を張り上げざるを得ない教員の飛沫、
2.教卓黒板前から最前列生徒との近いディスタンス、
3.突然起こるくしゃみや咳
に対して45分間の密集、密閉も不安。

登校時のバス車内

笠原敬病院教授の助言

❶ 登校バスの密について

15分前後の乗車であれば、(1)窓を可能な範囲であけること(換気)、(2)私語を可能な限り慎むこと(あるいはなるべく対面しないようにすること)、(3)マスクは口だけでなく、鼻まで確実に覆うことを遵守すればある程度乗車中の感染リスクを減らすことはできると考える。これに加え、(4)「乗車前」と「下車直後」に手指消毒を行うことで、つり革や手すりを共有することによる接触感染のリスクも低減することが可能。

❷ 冬期の教室の換気について

(1)外に面した教室の前の方の窓と、廊下に面した教室の後ろのドアを5分ほどあける、あるいは外に面した教室の後ろの方の窓と、廊下に面した教室の前のドアを5分ほどあける、など教室を横断して対角になるような形でドアや窓をあけると換気が促進されると考える。「はい、あけて」など授業を中断して声かけを行うのは、感染対策の意識付けとして決して悪いことではないと思う。

(2)寒さ対策や、ディスタンス対策は、普段ならあり得ないのかも知れないが、ドアを開放する生徒付近のヒーターの設置や、席配置の工夫などで対処せざるを得ないのではないかと考える。

現実的には授業中の理想的な感染対策を追求するよりは、症状のある生徒は学校に来ないことをより徹底することや、休み時間の密を減らすこと等の方が本来はより本質的な対策である。

9

企業・団体名　（一社）大和飛鳥ニューツーリズム

相 談 内 容　民家体験宿泊時における感染対策について相談

中学生や高校生、更にはインバウンド観光客が、奈良県の明日香村・橿原市・高取町・桜井市・宇陀市・下市町の民家に宿泊し、収穫・調理・稲刈り・裏山整備などの体験を通して大和の歴史を学び、心と心のふれあいを学ぶツーリズムを主催する（一社）大和飛鳥ニューツーリズムから、コロナ禍における民家のコロナ対策相談があり、感染対策を助言

大和・飛鳥民家ステイ型体験教育旅行を実施のホストファミリー宅でコロナ対策を助言

実施内容　1月9日（土）、奈良医大感染症センター長の笠原敬病院教授と共に2軒のホストファミリーを訪問し、食事場所、寝室、お風呂、トイレなどを見て回り、必要な助言を行いました。

●民家訪問、助言の様子

明日香村：K様宅

桜井市：Y様宅

新型コロナ対策相談事例 ホテル

10

企業・団体名　ダイワロイヤルホテル　THE KASHIHARA

相 談 内 容　結婚式や団体客など多人数が参加の場合の感染対策相談

結婚式や大宴会、修学旅行生宿泊など100人を超えるイベントが多く存在するダイワロイヤルホテル　THE KASHIHARAから、新型コロナ感染対策に関して現状の対策に助言を欲しいとの依頼があり、笠原敬病院教授とホテルの現状を視察、助言を行うことで相談会を設定。

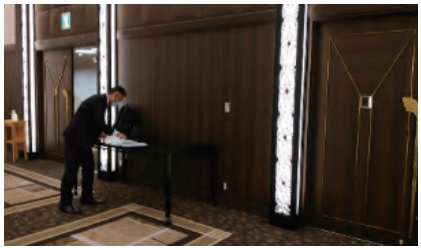
ダイワロイヤルホテルTHE KASHIHARAでのコロナ対策相談

（2020年10月17日）

参加者	ダイワロイヤルホテルTHE KASHIHARA副支配人　山本岳史氏 販売促進リーダー　大槻和江氏 奈良医大（感染症センター　笠原敬病院教授） MBTコンソーシアム
内容	①ダイワロイヤルホテルTHE KASHIHARAから対策状況を説明 ・3感染ルート遮断MBTコロナ対策案を参考に大人数イベントのコロナ対策案（右資料）を作成し進めているが、その上で、いくつか相談したいことがある ②ホテル内の大人数イベント会場の現場視察（例:結婚式場）

1 受付　・アクリル衝立
・自動消毒液装置設置

2 披露宴会場　・椅子の間隔1.2m
・司会が感染対策を都度リード



3 会場扉　・4か所の扉は半開きで換気

笠原敬病院教授の助言

- 飛沫感染において、マスクをつけた状態で1mの間隔で15分の会話まではOK
- 結婚式で、プログラム進行において、その一つ一つの進行司会者が、コロナ対策注意事項を入れることで披露宴参加者の行動の制約ができるのではないか。（新郎・新婦は各テーブルへあいさつに回る、アルコールをもって注ぎに回る事、乾杯時、等々感染リスクが高い内容の進行において）
- 手袋の使い方:原則消毒済みの素手が清潔であり、手袋をつけているからといって清潔とは限らないと考えるべき。
- 手に絵の具がついていると考えて、どのように接触感染が広がるか、考えて対応して欲しい。

ダイワロイヤルホテルの回答

会場視察の中で、また意見交換の中で笠原先生から得た知見を基に、再度自ら対応策を考えてみるので、また改めてチェックをお願いしたい。

11

企業・団体名　奈良ホテル

相 談 内 容　結婚式や団体客など多人数が参加の場合の感染対策相談

創業明治42年で111年の歴史に刻まれた奈良ホテルでは、国内外からのお客様、観光客への新型コロナ対策は万全を期すことが不可欠であり、既に独自のコロナ対策を実施しているものの、改めてMBTコンソーシアムにコロナ対策相談を依頼。

奈良ホテルでのコロナ対策相談

（2020年11月7日）

参加者	奈良ホテル取締役　副総支配人　福田順氏 営業本部　石川光一氏、藤田昌宏氏、岡本成司氏 奈良医大（感染症センター　笠原敬病院教授） MBTコンソーシアム
内容	①ホテル概況、新型コロナ対策のあらましについてヒアリング ・奈良ホテルは、JR西日本開発グループの傘下、グランヴィアホテル系列で、統一されたコロナ感染対策を実施。チエーン本部から指導を受けている ・大きな会議は、ハイブリッドが多く、少人数に絞ったリアル会場とon-line会場での実施。食事も弁当で提供 ②お客様の動線に沿って現場視察と助言（例:ロビー、フロントカウンター）

入館時には、手指消毒とサーモグラフィカメラによる検温とマスク着用のお願いを実施。

フロント女性は、感染に関わる行動後には常に手指衛生を実施。部屋のキーもアルコール拭き後にトレー渡し。

笠原敬病院教授の助言

- JR西日本ホテルズ Clean & Safety に基づき、ホテル側として提供できる感染対策は徹底的に行われていると感じた。さらに精度を高めるためには、
  - ・従業員およびお客様が本当にこれらの感染対策を遵守しているかを確認する試み。
  - ・特に手指衛生において「適時」とある、「適時」をより具体的に意識し、徹底すること。例えばホテルやレストランに「入る時」に加えて「出る時」にも手指消毒を行うことで、感染のリスクを減らすことができる。またレストランやクロークなどの従業員の手指衛生のタイミングについてもより検討を深められると良い。例えばクロークでは「お客様の荷物を預かる直前」と、「お客様の荷物を収納した直後」に手指消毒を行うことで、荷物の汚染および荷物からの汚染のリスクを減らすことができる。
- 宴会時の感染対策についても、「従来の宴会形式」に感染対策を上乗せするだけでは限界がある。宴会形式そのものの工夫をすることで、より自然に感染リスクを下げることができると思うが、それにはかなりの議論が必要と思われる。

新型コロナ対策相談事例 店舗

3感染ルート（接触、飛沫、エアロゾル）遮断を重視した「MBTコロナ感染対策」様々な業種の店舗に導入が進む

MBTコロナ対策・企業相談分科会は、活動の一環として、多くのお客様が出入りする店舗においてもコロナ感染対策の無料相談を推進しています。特に、感染予防意識の高いお客様が訪れた際に、自ら感染対策をしやすいような環境がその店舗に整えられていることが重要であるとアドバイスしています。
そして、その環境が整えられたと認められた店舗には、MBT　感染対策ステッカー入りポスター（右図）を入り口に表示いただいています。以下に、「MBTコロナ感染対策」を実施している3店舗を紹介します。

12 店舗名 ドトールコーヒーショップ　奈良県立医科大学附属病院店

MBTコロナ感染対策実施のステッカー入りポスターを店頭及び店内に掲出するとともに、対策内容を詳しく紹介したパンフレットを設置。

全テーブルに消毒液とウェットティッシュを配置し、お客様自ら手指消毒やテーブル消毒ができる環境を提供。

13 店舗名 ダイワロイヤルホテル　THE KASHIHARA　「カフェ&レストラン甘樫　他」

MBTコロナ感染対策実施のステッカー入りポスターを店頭に掲出するとともに、対策内容を詳しく紹介したパンフレットを設置。

全テーブルに消毒液とウェットティッシュを配置し、お客様自ら手指消毒やテーブル消毒ができる環境を提供。

対面する座席には、飛沫防止用にアクリル製仕切り板の配置も可能とし、加えて消毒液やウエットティッシュも配置。

14 店舗名 クオール薬局　梅田ガーデン店

MBTコロナ感染対策実施のステッカー入りポスターを店頭に掲出するとともに、対策内容を詳しく紹介したパンフレットを設置。

待合の全椅子にも消毒液を置いて、お客様自ら手指消毒ができる環境を提供。

お薬のお渡し口のお客様との対面場所には、飛沫防止用にアクリル製仕切り板を配置、加えて消毒液やウエットティッシュも配置。

新型コロナ対策相談事例 セミナー

15

企業・団体名　京都市成長産業創造センター（ACT京都）

相 談 内 容　セミナー開催時における感染対策相談

ACT京都創立7周年記念フォーラムのハイブリッド（会場&web）開催にあたり、新型コロナ感染対策について相談があり、奈良医大感染症センター笠原敬病院教授よりメールで感染対策を助言。

セミナー開催時の感染対策について助言

相談内容

・演台（講演者）と参加者の間、また、参加者間の距離について
・講演者用PCについて、各人が持込み交代時にプロジェクターとの接続、ケーブルの消毒をすれば問題ないか。共通で利用するPCを用意した場合にはどのようにすれば良いか
・会場内での質疑応答についてどのようにすれば可能であるか

笠原敬病院教授の助言（一部抜粋）

❶ 演台（講演者）と参加者の間、また、参加者間の距離について
演台と参加者は2m、参加者間は前後左右1mを原則とお考えください。演台と参加者の間に、さらにアクリル板を設けるのは良いと思います。また演者がマスクを外さないとしゃべれないという場合、その条件であれば外して良いと思います。

❷ 講演者用PCについて、各人が持込み交代時にプロジェクターとの接続ケーブルの消毒をすれば問題ないか。共通で利用するPCを用意した場合には接触という観点からふさわしくないので避けるべきか。両者ともふさわしくなく、事務局が一括して操作するべきか?
①持ち込みPCと演者の手指にウイルスが付着している
②既設のケーブルや演台にウイルスが付着している
の2パターンを想定すると整理しやすいのではないかと思います。
また、その場合に、誰が何の作業を行うのか役割分担をはっきりすると良いと思います。
私だったら自分でPCを操作したい場合の流れは
①演台の上、マイク、PCケーブル、ポインターなどを会場担当者がアルコールで拭く
②演者がPCを持ち込み、演台に置く
③手指衛生を行う
④既設のPCケーブルを自分で持ち、自分のPCに差し込む。電源アダプターも同様。
⑤手指衛生を行う
⑥講演（自分で自分のPCを操作）
⑦講演終了、PCケーブルを外す。電源アダプターも同様。
⑧手指衛生
⑨①にもどる
といった流れを考えます。
こういう流れによって、演者がウイルス汚染している場合、講演環境がウイルス汚染している場合をイメージしながら、そのウイルスが「他人」に広がらない方策を考えることができると思います。

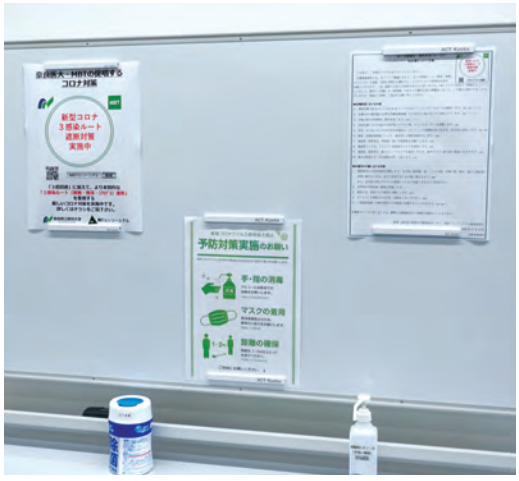
ACT京都創立7周年記念フォーラムで細井理事長が基調講演

11月19日（木）、（公財）京都高度技術研究所（ASTEM）の研究開発拠点である「京都市成長産業創造センター（ACT京都）」の創立7周年記念フォーラムで、細井理事長が基調講演を行いました。

ACT京都は、産学公連携で最先端の地域大学技術シーズを事業化につなげる研究プロジェクトを推進し、付加価値の高い高機能性化学品を生み出すとともに、その成果を地域企業に橋渡しし、新規事業立ち上げを支援する組織です。

会場とweb参加合わせて120人を超す関係者に、医科の単科大学が150社以上ものあらゆる業種の会員企業と連携して医学の知識を活用した新産業創出や、新型コロナ克服キャンペーンで店舗やホテル・学校・商店街他、幅広い対象にコロナ対策相談を実施していることを紹介しました。

また、会場では、MBTコロナ対策である3感染ルート遮断を重視した感染対策を実施するとともに、参加者にその内容を紹介した資料を配布して感染の本質を啓蒙しました。



会場の様子

新型コロナ対策相談事例 商店街

16

企業・団体名　奈良もちいどのセンター街
相 談 内 容　商店街における感染対策相談

東大寺の新型コロナ対策相談の中で、コロナ対策は商店街や神社仏閣でも必要なことであるとして拡大の要望が出され、東大寺の呼びかけでもちいどのセンター街の店主を対象に新型コロナ対策の講義と代表的店舗で対策指導を実施。

もちいどのセンター街における感染対策を助言

（2020年11月7日）

参加者	（奈良もちいどのセンター街協同組合）理事長　松森重博氏 副理事長　魚谷和良氏 事務局マネージャ　前田孝登氏（その他商店主15人参加） （東大寺）庶務執事　森本公穣氏 （春日大社）総務部長　禰宜　藤岡信宏氏 （NHK奈良放送局）記者　及川佑子氏 奈良医大（感染症センター　笠原敬病院教授）、MBTコンソーシアム
実施内容	①笠原敬病院教授より資料を用いてコロナ対策の基本的考え方を講義 ②商店街3店舗の現場で新型コロナ対策相談を実施 1）革製品店舗　2）かまぼこ販売店舗　3）スーパーマーケット ③笠原敬病院教授より現場視察での気づきと、会場からの質問を受ける

現場視察の様子

会場からの質問

・大阪市の感染者が多く奈良へも影響が出てる。感染度高い要因は接触?飛沫?
・冬にかけてインフルエンザも心配。でもコロナ対策でマスク、手消毒をしているのでインフルエンザは少なくなるのでは?
・アルコール消毒液の適量は?手指衛生の正しい仕方は?
・コロナの終息の見通しは?
・商店街では例年新年パーティを行っているが、どのようなやり方が好ましいか?

新型コロナ対策相談事例 企業個別

17

企業・団体名　ユニ・チャーム株式会社

相 談 内 容　介護現場における感染対策相談

ユニ・チャーム（株）担当者がNHK番組「プロフェッショナル 仕事の流儀」を視聴後に、介護現場における感染対策について、相談依頼。

排泄ケアにおける感染対策をZOOM会議にて助言

（2020年9月19日）

参加者　ユニ・チャーム（株）より10名、
協会団体施設長　山本氏
奈良医大（感染症センター　笠原敬病院教授、 産学官連携推進センター　細川洋治センター研究教授）、
MBTコンソーシアム

相談内容と回答（一部抜粋）

Q ベッド上のおむつ交換時のマニュアルを作成中。感染リスクの高い、入浴時・排泄時・食事時の感染リスクについて

A 微生物によって感染リスクは異なる。新型コロナウイルスは咳、くしゃみがリスク。ノロウイルスは便がリスク。新型コロナは入浴や食事介助は利用者がマスクを外すからリスクは高まる。ノロウイルスはおむつ交換時に体に附着するリスク。

Q おむつ交換介護は手袋と使い捨てエプロンを着用。汚染担当と清潔担当の2人で実施。

A コロナウイルスは今までと状況が異なるので、今までのやり方をいったんリセットしてゼロベースで考えよう。

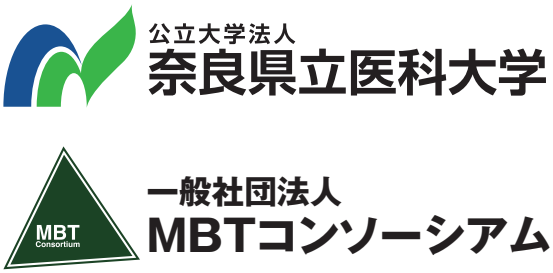
Q 手袋不足。使ったまま次の患者にも使っている。

A （山本）：プラスチック手袋は不足しているがマスクもある程度入手出来ている。洗いながら次の患者に対応せざるを得ない状況。

A （笠原）：病原体の持っている人、もっていない人を情報共有して、回っていけるか。途中に下痢者がいたら、後回しにするとか、リスクのある人には交換するとか。エプロンについても、職員の胸やお腹に何が接触するか。袖なしエプロンで腕は流水と石鹸で洗う。なんで必要なのか、現場を見ながら代替案を出すべき。

Q ゾーニングの考え方が、施設では遅れている。クラスタ発生のところはゾーニングが遅れている。ワゴンの上段に清潔、下段に不潔として提案したい。

A 意識がいきわたる教育などで感染対策ができる。お客様に提案していく。感染対策の基本は、目に見えないウイルスをいかにして意識して対応するかだ。


公立大学法人
奈良県立医科大学
MBT
Consortium
一般社団法人
MBTコンソーシアム